

令和6年度(令和5年度実績) 総合評価書 <施設名: 坂上児童館>

1 指定管理者名	労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団
2 指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日(1年間)
3 業務の範囲	1 児童館の事業の実施に関すること。 2 児童館の維持管理に関すること。 3 目的外使用許可にかかる事務に関すること。 4 児童館運営委員会の設置、運営管理に関すること。 5 事業評価に関すること。

4. 採点表

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点
1 運営・利用状況 (40点)	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)	10	①施設の利用率(利用時間/日数×営業時間)  ②利用人数  平均値比(注) 105%以上:10点、 105%未満~95%:8点、 95%未満~85%:6点、 85%未満:4~0点	平均値比とは、当該評価対象年度の利用率を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用率の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用率の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用率) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用率実績に所要の調整をして算出した値	開館時間中(10:00~18:00)は、自由来館としている。	-
				平均値比とは、当該評価対象年度の利用人数を次に掲げる値で割って求めた率をいう。 (1)指定管理期間1年目 前指定管理期間における利用人数の平均値 (2)2年目以降 指定期間における当該評価年の前の年の利用人数の平均値(例:4年目の場合は、1~3年目の平均利用人数) (3)新規施設の場合又は施設内容の大幅変更等により(1)、(2)によることが不適当であると判断される場合 他の類似施設における利用人数実績に所要の調整をして算出した値  平均値比(上記(1)適用) ※今回は指定管理1年目の評価のため、上記(1)を適用する  126%≒利用人数(延べ人数 13,312人)÷10,579人	105%以上 5点  【令和5年度】来親者数 13,312人 乳幼児:2,336人、小学生:6,689人、中学生:640人、大人:3,647人 【令和4年度】来館者数 10,579人 乳幼児:1,624人、小学生:5,953人、中学生:281人、大人:2,721人  (参考)コロナ前である令和元年度との比較 ・R5:13312÷R1:15848≒84%	
	(2)市の事業の企画・運営・実施状況 (仕様書内)(15点)	15	仕様書以上:15~12点、 仕様書に忠実:11~9点、 仕様書の一部不実施(軽微):8~7点、 仕様書の一部不実施(中程度):6~3点、 それ以下:2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計48回開催、延べ666名参加) ・児童を対象とした事業(計58回開催、延べ776名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計1回開催、延べ78名参加) ・中高生事業(計8回開催、延べ82名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計19回開催、延べ121名参加)  ※別紙:事業評価表 参照	仕様書以上 13点	・保健センターや保育園、地域と連携を図り、事業を行っている。 ・児童を対象とした事業では、児童の意見を取り入れながら事業を実施した。 ・一輪車クラブはコロナ前と同じように各まつりで発表することができ、他館との交流会も実施することができた。 ・中高生ボランティア事業は、それぞれの行事に多く集まり、力を発揮した。 ・養正地域社会福祉協議会やNPO法人「明るい未来のある地域づくりを進める会」、公民館等と共催して、要望に応えながら様々な事業を行った。
(3)自主事業の企画・運営・実施(15点)	15	内容・事業数等が期待以上:15~12点 例年通り:11~9点、 例年よりやや劣る:8~7点、 例年より劣る:6~3点 例年よりかなり劣る 2~0点	・乳幼児と保護者を対象とした事業(計41回開催、延べ438名参加) ・児童を対象とした事業(計56回開催、延べ480名参加) ・地域交流事業、多世代間交流事業(計47回開催、延べ776名参加) ・中高生事業(計10回開催、延べ42名参加) ・子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進(計10回開催、延べ109名参加)  ※別紙:事業評価表 参照	期待以上 13点	・地域の特性を活かした事業を、地域の協力を得ながら実施している。 ・デイキャンプや4年ぶりの鏡もち作りでは、地域の行事指導員の存在は欠かせないものであり、地域との長い繋がりも賜物である。 ・「子育て相談事業と子育てネットワークづくりの推進」におけるプレベビーズサークルは母親達の交流の場として、次年度のベビーズクラブに繋がっている。長く保育士をされていた主任児童委員の方が時々来て様々な遊びを提供してくれた。母親の思いに沿うように企画しており、参加者が増加している。 ・大きな事業には、主任児童委員2名の方が積極的に関わって参加し、子どもの姿や行動等を目の当たりにして、児童館のあり方や子どものニーズ等協力を得ている。	13点
(1)施設管理業務の実施状況 (10点)	①清掃	10	①チェック細目の丸数字の各項目を3段階評価する 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点  ②5項目の合計点とする。  ※駐車場は、期待以上:8点、 適正(普通):6点、一部不備あり:4点、不備あり2点	屋内・トイレの清掃:毎日 備品の清掃:毎日 ガラス・照明器具の清掃:随時 館庭の清掃:週2~3回等の定期清掃、日常清掃を実施。 駐車場、児童館周辺、公園等も、定期的に清掃している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。
	②保守・点検			電気工作物・運動器具・保守点検:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。
	③保安・警備			非常通報装置・消防用設備:委託により実施	適正(普通) 2点	適正に実施されている。
	④小規模修繕			・輪転機保守修理(29,700円) ・遊戯室網入り硝子割替え(26,070円) ※10万円未満であったため、仕様書の定めにより、指定管理者の負担で修繕・修理を行った。	適正(普通) 2点	修繕箇所が発生した場合は、遅滞なく対応されている。
	⑤危険箇所の把握(施設の瑕疵)			・毎月の定期点検により危険箇所の有無について確認。	適正(普通) 2点	日常の業務の中で危険箇所を把握し、適正に対応されている。
①文書管理		文書目録を作成し、重要書類はすべて、鍵のついたスチール棚に保管。	適正(普通) 2点	文書目録を作成し、それに基づき適正に管理されている。		

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点		
2 施設管理状況 (25点)	(2)その他管理業務の実施状況(15点)	②環境への配慮	15	①チェック細目の丸数字の各項目を4段階評価する 期待以上:3点、 適正(普通):2点、 一部不備あり:1点、 不備あり:0点) ②5項目の合計点とする。	・「節電・節水に努める」 利用者のいる部屋のみ照明をつける、使用していない電化製品のプラグは抜く、冷房の設定温度を28度に設定。プール遊びで残った水は内水にして暑さ対策にする。夏は高窓を開け風通しを良くする、冬は床にマットやじゅうたんを敷くなど、季節に合わせた環境設定でエネルギーの浪費を抑えている。 ・「廃材や消耗品の再利用」 コピー等は館内のものではできる限り裏紙を使う。 乳幼児クラブや館内の工作行事では、期限切れのチラシや牛乳パック、豆腐の入れ物、トイレトーパーの芯、トレイ、ペットボトル等、様々な物を活用し、その便利さに気付かされる事もあった。 関係機関への連絡はメールを利用。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。	10点
		③バリアフリー		玄関に手すりを設置しており、トイレは洋式化している。 廊下に障害物を置かない様に努めている。 廊下のガラス戸に飛散防止フィルムを貼る。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		④備品管理		備品台帳の原本は子ども支援課で保管。コピーを適正に管理している。年1回照合。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑤個人情報保護		労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団として『個人情報保護規定』を作成し、情報は施錠保管のうえ管理している。	適正(普通) 2点	適正に実施されている。		
		⑥事故等への対応		0	事故等への対応は減点対象とする 事故なし及び事故等の対応に不備なし:0点、 事故等の対応に不備あり:△1点	事故なし	事故なし・対応に不備なし 0点	
	3 当該施設の経営状況 (-点)	①事業収支		施設の特性から評価対象外の項目	(参考)収入 10,801,482円 ÷ 支出 10,878,450円 = 99% <b>収支状況が必ずしも管理運営状況を反映するのではないため、評価対象外とする。(令和3年度から)</b>			
(1)市民・利用者の声の反映 (20点)	①ニーズの把握・事業への反映	15	期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	・乳幼児クラブ終了時や事業開催後などに、感想や意見を聞く場を設け、参考にしつつ次に繋げて活かすようにしている。ちびっこクラブでは保育園訪問を行っているが、他のクラブでも希望する方は一緒に出かけ、保育園を知る良い機会となっている。コロナ前に行っていたクラブ最終回のクッキングは要望が多く、令和5年度後期実施し好評だった。 ・乳幼児クラブでの体操教室が好評で、クラブ以外でも開催してほしいと保護者からの声が多く聞かれたため、講師に来ていただき2回開催した。他地域も含め多くの参加者があった。 ・まちづくり市民会議と共催で、乳幼児と小学生のクリスマス会を開催している。要望の多かった園児対象のクリスマス会も3年目となり、土曜日開催の園児と小学生のクリスマス会では毎月来ていただくおはなしの会さんをはじめ、中高生ボランティアにも協力してもらっている。 ・中学校にボランティアを募集させていただくと毎回多くの中学生が来てくれる。多数で断らざるを得ない場合もあり、中学生の気持ちを無駄にしないよう、いろいろな行事に来ていただけるよう企画している。 ・児童館にあるマンカラは子ども達に大人気で、もっとマンカラをやりたいという子ども達の声に応えてNPO法人「明るい未来のある地域づくりを進める会」にご協力いただきマンカラ大会を開催している。	期待以上 13点	・定期的なアンケートの実施や、利用者の意見を聞く機会を設け、事業に反映させている。 ・地域の声を大事にしなが、次へつなげていく事業の実施に努めている。	13点	
	②苦情対応	5	期待以上:5点、 適正(普通):4点、 不備あり:3~1点 ※苦情なしは5点とする	苦情なし。	期待以上・苦情なし 5点	ワーカーズコープとして、苦情解決第三者委員を設置している。	5点	
4 より良い施設運営のための取組 (35点)	(2)より良い施設運営・事業実施のための提案・姿勢、上記1~3の評価に反映されないその他の成果ポイント(15点)	15	提案、姿勢、その他の成果ポイント(アピール)が 期待以上:15~12点、 適正(普通):11~9点、 普通未満~物足りない:8~0点	坂上児童館の建物は坂上公民館の機能も備えており、地域の方の拠点にもなっている。 地域の会議等も行われる為、地域にとって児童館は関わりが深い場所であり、日々の運営や行事等についても協力的である。また第2区には行事指導員の方々がいくださり、地域の行事だけでなく児童館事業にも協力いただいている。また令和3年7月より養正地域福祉協議会の事務所が児童館内に設置され、相互に協力し合うだけでなく、令和4年度から共催事業「伝承あそび」を実施し好評である。令和5年度は2回開催し、そこで行ったポッチャは老人サロンでも人気で、大人も子どもも入り混じって大いに盛り上がった。 隣接する坂上公園では子ども達とごみ拾い等を行っている。公園内での子どものケガ等は勿論のこと、樹木の枝折れ等の危険、トイレ、遊具、水道の不具合、忘れ物等は児童館に連絡がくるので、その都度できる範囲内で対処し、必要があれば関係機関に繋いでいる。 ・施設管理に一番重要な人員確保のために、常時勤務する以外の臨時有資格者を登録し、大きな事業や学校休業日・長期休暇中など来館者の多い場合や急な職員欠勤に対応できるようにした。 ・労働者協同組合ワーカーズコープ・センター事業団では、『全国子ども・子育てケアプロジェクト』を組織し、子育て・子育て・障がい児支援の大規模な研究交流を行っている。 毎月「全国子育てWEBミーティング」・5月23日「全国子ども子育てケアプロジェクト会議」・9月9日~10日「全国子育てフォーラム」(オンライン)・11月11.12日「実践交流集会」子育ての中で体験する事の重要性を実践報告と共に学習した。年間全国規模の研究交流会を計8回開催。(オンライン)・東海事業本部においても「東海事業本部子育てPJ会議」毎月開催。(オンライン)・法人内児童館職員研修を毎月第2曜日を基本に開催した。 ・下記他団体の研修会に参加し、未参加者へは伝達研修を行った。 【主催:岐阜県]9/2 木育フォローアップ研修 10/25.2/25ぎふ木育サポーター研修 飛騨五木株式会社【主催:岐阜県児童館連絡協議会]・11/9東濃ブロック研修会「表現活動…音楽」[音でコミュニケーション]~リズムにのって心も身体もはすみましょ~ 中部学院大学短期大学部 幼児教育学科教授 岡田泰子先生・「表現活動…造形」[自然は教えてくれる]~あそびは、生きる力~ 小規模保育ねっこ園施設長 浅野美香子先生・12/7東濃ブロック研修会「地域福祉活動」[児童センターの社会的役割と意義]中京学院大学 専任講師 全国こども福祉センター理事長 荒井和樹先生【共催:多治見市社会福祉協議会、ワーカーズコープ]・2/7合同研修会「現代の子どもの性について -いのちの語り-」愛産産院 助産師 梅木美恵子先生【主催:多治見市消防署]・11/6火災凶上訓練(FIG)	期待以上 13点	・地域行事へ職員の参加や、地域との積極的な連携を行っている。 ・隣接する坂上公園の清掃、公園内での子どものケガなどにも配慮している。 ・施設管理の人員確保のために、臨時有資格者を登録している。 ・子どもだけに限らず、地元住民の声を大事にしなが、地域に愛される施設としての事業実施を心がけている。	13点	

評価項目	細目	配点	採点基準	実績(パーセントを求める場合は、小数点第1位を四捨五入)	分析、評価、指示等	得点	
5 その他 (減点方式)	(1)報告書類の提出状況	0	提出書類の遅れ・不備に応じて減点対象とする(遅れ・不備内容の程度により△1～△3点) 一部遅れ・不備あり(軽微):△1、一部遅れ・不備あり(中程度):△2、一部遅れ・不備あり(それ以下):△3	提出書類の遅れなし。	遅れ・不備なし 減点なし	適正に実施されている。	0点
	(2)市からの指示等への対応(報告書類の提出以外)等	0	指示への対応等に応じて減点対象とする(対応等の内容により△1～△3点) 指示等なし・対応等が期待どおり:減点なし、対応等が期待以下(軽微):△1、対応等が期待以下(中程度):△2、対応等が期待以下(それ以下):△3	市からの指示等なし。	指示等なし・対応等が期待どおり 減点なし	適正に実施されている。	0点
合計		100	【4段階評価】 極めて良好100～85点 良好 84～65点 努力が必要 64～45点 取消し等を検討44点以下			87点	
						<b>全体的な評価</b> ・極めて良好な管理が行われている。 ・令和7年度の養正交流センターへの機能統合を控え、地元自治会や地域社協とも連携協力しながら、利用者目線の事業及び施設運営を円滑に進めている。	極めて良好